

■ 施策の体系

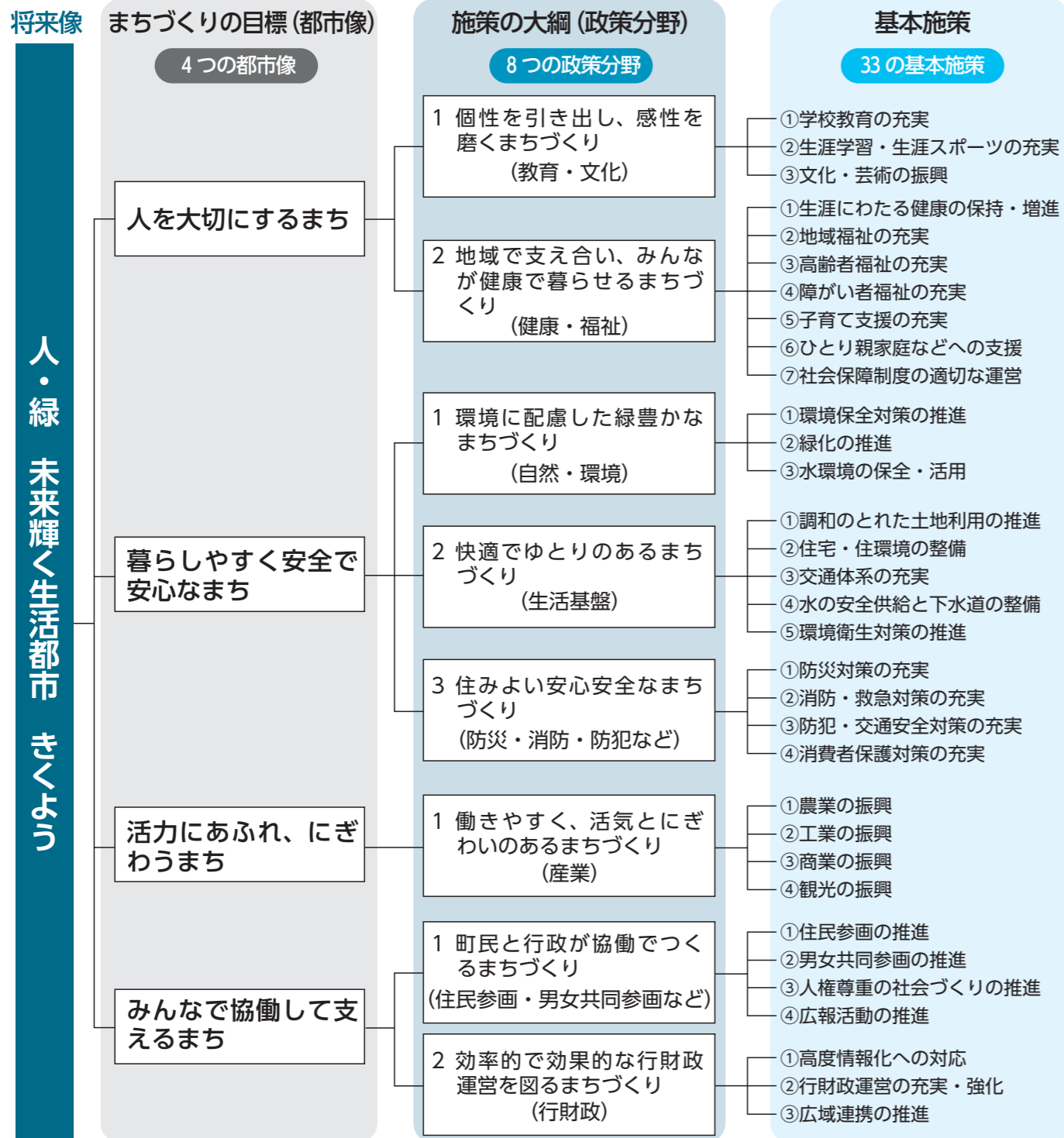
本計画では、下図のように町の「将来像」を定め、この実現化を目指すために「4つのまちづくりの目標(都市像)」、さらに「8つの施策の大綱(政策分野)」と「33の基本施策」を定めました。

33の基本施策の事業は、第4期の総合計画の事業を継承しつつ、新たな事業も盛り込み、9月ごろまでに「前期基本計画(平成23~27年度の5年間)」としてまとめる予定です。



基本理念

一人ひとりが知恵を出し、心が触れ合い、活力ある、協働のまちづくりを目指します。



問い合わせ

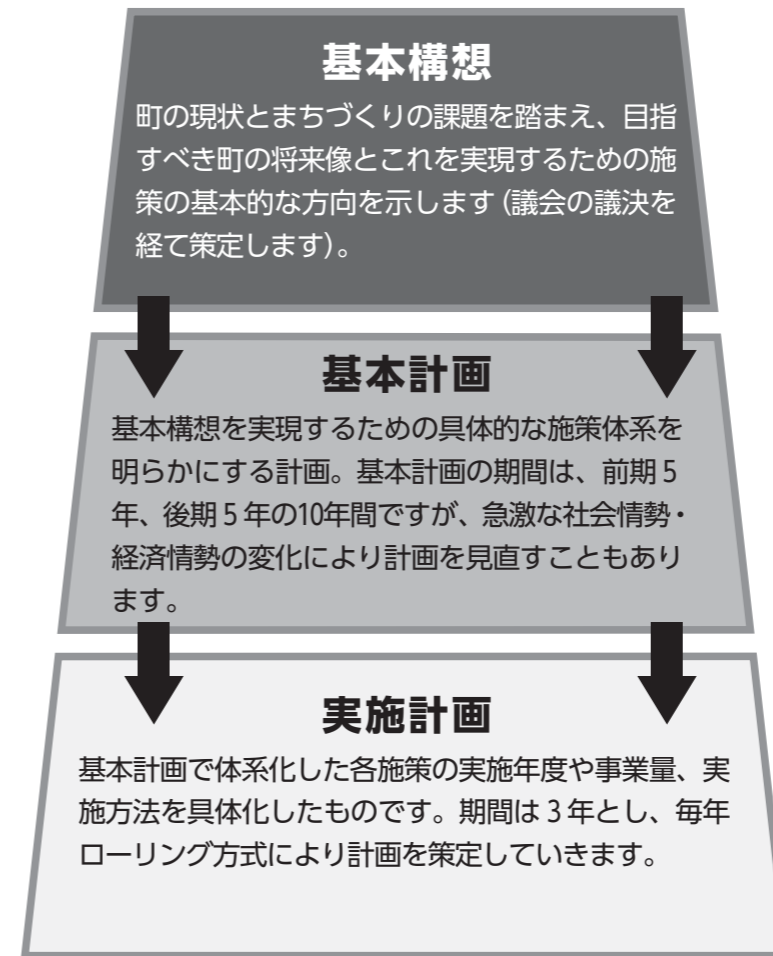
総合政策課 総合政策係

☎ 232-2112

第5期菊陽町総合計画の基本構想を策定 町の将来像「人・緑 未来輝く生活都市 きくよう」

次の10年間に向けて

町では、平成13年に「人・緑・元気 輝く 生活創造都市」を町の将来像とする「第4期菊陽町総合計画」を策定し、さまざまな事業を実施してきましたが、今年3月の計画期間終了に伴い、新たな総合計画を策定しています。この新たな総合計画のうち、「人・緑 未来輝く生活都市 きくよう」を将来像とする基本構想が3月の議会で議決されましたので、その概要をお知らせします。詳細は、「広報きくよう」5月号から順次掲載していきますのでご覧ください。



■ 計画の目的  
第5期菊陽町総合計画は、第4期総合計画の実績と評価を踏まえて、平成23年度から始まる本町の新しいまちづくりの指針となることを目的として策定します。

■ 計画の役割  
① 町の総合的かつ計画的な行政運営の指針  
② 町民などの活動に際しての指針  
③ 国・県などが地域計画を策定し、事業を行うにあたっての尊重すべき指針

■ 計画の構成と期間  
「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成し、平成23年度〜平成32年度の10年間を計画の期間とします。

■ 目標人口  
「光の森」をはじめとした住宅開発を契機にして、近年総人口は急激に増加してきました。しかし、今後10年間は、人口の転出入が年々縮小し、人口増も一段落することが予想されることから、平成32年度の目標人口を43,000人と設定します。

■ これまでの経過と今後の計画

	平成23年				平成22年	
	9月	7月	3月	2月	1~2月	7月
前期基本計画策定(町長決定)						
基本構想案について答申						
町政懇談会開催						
菊陽町総合計画策定審議会から「基本構想案」について答申						
「基本構想(案) 議会議決(基本構想の決定)						
町政懇談会開催						
町長、菊陽町総合計画策定審議会に総合計画策定について諮問						
町民意識調査						
菊陽町総合計画策定審議会開催(平成23年2月までに4回開催、4月以降4回開催予定、全8回の計画)						

■ 総合計画策定審議会  
総合計画の策定は、町条例の規定により、「菊陽町総合計画策定審議会」の意見を参考とすることとされています。

審議会は、議会議員、各種団体の委員、大学教授など20人で構成され、会長は熊本県立大学の明石昭久教授で、2月に「基本構想案」の答申をいただきました。

今後は、具体的な事項を盛り込んだ「基本計画」を検討していただくことになっています。

■ 次回の町政懇談会

今後は、基本構想を実現するための具体的な基本施策(基本計画)の策定に向けた町政懇談会を7月ごろに予定しています。

詳しい日程などは決まり次第、「広報きくよう」および町ホームページでお知らせします。

■ 開催状況

開催日	会場	小学校区	参加人数
1月24日(月)	南部町民センター	菊陽南小学校区	13人
1月25日(火)	老人福祉センター	菊陽中部小学校区	14人
1月26日(水)	ふれあいの森研修センター	菊陽北小学校区	9人
1月31日(月)	三里木町民センター	菊陽西小学校区	14人
2月1日(火)	西部町民センター	武蔵ヶ丘北小学校区	17人
2月2日(水)	武蔵ヶ丘コミュニティセンター	武蔵ヶ丘小学校区	29人

# 新基本構想に係る町政懇談会を開催



町では、新たな基本構想の素案について、町民の皆さんと意見交換を行うために「町政懇談会」を開催しました。6日間で延べ96人の町民の皆さんの参加があり、さまざまな質問や意見が寄せられました。ここで、その主な質問、意見などを「Q&A」方式で紹介します。

### まちづくり

**Q** 東部と西部の格差が大きい。バランスのとれた菊陽町にしてほしい。  
**A** 地域のバランスを考えて進めていく。

**Q** 今後、10年間に合併の構想はないのか。  
**A** 今の時点では基本構想の将来像を基に単独でいきたいが、将来的に合併の動きがあれば、その時点で考えることもあり得る。今は町として力をつける時期である。時代の波がくれば対処していく必要がある。

**Q** 10年後、4万3千人を目標としているが、将来的に菊陽町独自で市を目指すのか。  
**A** 人口が5万人を超えないと単独では市になれない。独自に市になることは10年間では考えていないが、4万3千人ということで、行政としては市レベルの対応をしなければならぬ。

**Q** 光の森多目的広場などの将来的な計画はどうなっているか。  
**A** 光の森多目的広場の南側の公共用地は、支所機能を中心とした複合施設を計画している。平成23年

リーンカーテンを取り組んだ。平成23年度からは、各地域にも広げていきたい。  
**Q** 市街化調整区域の課題を具体化し、説明してほしい。  
**A** 都市計画の規制で開発は厳しいが、十分知恵を働かせたい。現在の取り組みとしては、合志市、益城町、嘉島町、菊陽町の1市3町で市街化調整区域活性化連絡協議会を通して、県に対して要望活動などを行っている。

### 生活基盤

**Q** 市街化調整区域の課題を具体化し、説明してほしい。  
**A** 都市計画の規制で開発は厳しいが、十分知恵を働かせたい。現在の取り組みとしては、合志市、益城町、嘉島町、菊陽町の1市3町で市街化調整区域活性化連絡協議会を通して、県に対して要望活動などを行っている。

**Q** JR原水駅の駅正面の階段は3段あるので、高齢者などには不便である。整備をお願いしたい。  
**A** 原水駅の北側はすでに着手している。駅正面の階段はバリアフリー化を早急に解決しなければならぬ。JRと協議しながら、取り組んでいきたい。

### 防災・消防・防犯など

**Q** 安全・安心のまちづくりの中で警察力の強化は非常に重要であるので、ぜひお願いしたい。  
**A** 大津警察署管内は県内でも交通事故、犯罪の多い地域となっている。町としても警察力の強化を機

度から基本設計などに取り掛かり、平成25年度には工事に着手しようと考えている。施設の整備内容は、地域の方々を含めた検討委員会を設置して進めていく予定である。また、現在の光の森多目的広場は仮の運用であり、財政状況を見ながら、平成28年度までに本格的な整備をしていきたい。

### 教育・文化

**Q** 中部小学校建設に係る工程はどうなっているのか。  
**A** 今年の8月に工事契約、9月には工事に着手しようと考えており、平成25年の1学期に完成予定としている。それに併せて、仮設校舎は、役場横の町民グラウンドに建設を予定しており、今年の2月に着手し、7月に完成予定である。

**Q** 旧RKKグラウンドに民間による宅地開発(180戸)が行われるが、現在の武蔵ヶ丘北小学校の施設で児童の受け入れは可能か。  
**A** 武蔵ヶ丘北小学校の児童数は、多い学年で55人、少ない学年で46人である。仮に各学年20人増えても、2クラスのまままで対応できるが、特定の学年に偏ってくれば3クラスになることもある。その場合は、今ある施設

会があることに要望している。また、町内の各地区でも警察力の強化に対する署名運動を展開して、官民一体となった活動を実施していきたい。  
**Q** 大規模災害などの防災体制として、熊本市などと避難協定は結ばないのか。  
**A** 飲料水は、ペットボトルとして大津菊陽水道企業団の水道施設の中に蓄えている。また、食糧は、大型商業店舗(ゆめタウン・ジャスコ)に、災害時に優先的に確保してもらうための協定を結んでいる。

### 産業

**Q** 町全体のものとして「鼻ぐり井手」を大いにPRした方がいい。地元も取り組む必要があるのでは、後押ししてほしい。  
**A** 地元の経済効果上がるようにしたい。今後、皆さんと話し合

にんじん焼酎の今後の展開と新たに人參の粉末などを商品化してはどうか。  
**Q** 町や商工会では、にんじん焼酎「酔紅」を作った。現在は、原材料の芋から米を主体にした、にんじん焼酎づくりを進めている。人參の

健康維持のためにも、スポーツ施設などを造ってほしい。  
**Q** スポーツ施設は基本構想の中でも盛り込んでいる。厳しい財政状況だが、建設の方向で取り組んでいきたいと考えている。

### 健康・福祉

**Q** 高齢者医療費の抑制として、健康で病気になる前の予防に力を入れては。  
**A** 健康の保持増進として、具体的な施策を体系的に取り組みたいと思う。町民の皆さんには町から案内している健診を受けていただきたい。健診を受けると精密検査が必要な人には保健師からの健康指導もある。また、町内各地区では、高齢者ふれあいサロンに取り組んでもらっている。今後も町民の皆さんと一緒に取り組んでいきたい。

の中で対応を考えなければならない。  
**Q** 健康維持のためにも、スポーツ施設などを造ってほしい。  
**A** スポーツ施設は基本構想の中でも盛り込んでいる。厳しい財政状況だが、建設の方向で取り組んでいきたいと考えている。

### 自然・環境

**Q** グリーンカーテンの取り組みをもっと広くPRしてほしい。  
**A** グリーンカーテンは南方地区を中心に取り組まれている。一昨年から町では公共施設を中心に役場庁舎、各町民センター、保育所で試験的にグ

粉という提案があったが、人參を粉にするにはかなりの費用がかかる。人參には消臭効果があるということ、現在、町と商工会が連携して「にんじんドッグフード」や「にんじん石けん」を商品化しようとしている。  
**Q** 住民参画・男女共同参画  
男女共同参画社会であるので、女性の考え方も総合計画の中に反映していった方がいいのでは。  
**A** 総合計画策定審議会の中には、4人がメンバーに入っており、多様なご意見をいただいている。

### 行財政

**Q** インフラ整備について、施設を長持ちさせるなど、将来の支出を削減するような施策も必要では。  
**A** 施設の長寿化も重要である。道路も下水道も台帳整備を行っており、長持ちするように維持・管理を行っている。また、下水道特別会計は企業会計方式に移行することで見直しをしている。

お問い合わせ 総合政策課 総合政策係 ☎232-2112

